

ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース07年1月号
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ <http://e-kamagaya.com/>



市議会議員
ふじしろ政夫

市民の声がとおる議会を！ 市政を！

2007年、新しい年が始まりました。すべての人々にとってすばらしい年であってほしいものです。

“個人の尊厳”が十分に尊重される社会をつくりあげていくことが、21世紀の新たな世紀をつくっていく私達の責務であると思われまます。戦争、格差社会、いじめ、弱肉強食の市場原理主義は、“個人の尊厳”の否定でしかありません。これらの諸課題、問題を解決するカギは？…

市民ひとりひとりの参画による「自治のまちづくり」の中に、そのカギがあるのではないのでしょうか。自立した市民、自立した行政・議会こそが、新たな社会をつくっていただけるのでしょ。

“市民の声がとおる議会を！” “市民の声がとおる市政を！” つくりあげていきましょう。市政



市民参加の議会を！

においては、鎌ヶ谷市でも、行政との協働がすでに少しずつですが始まっております。「市民提案協働事業」もその一歩を踏み出しました。自治基

本条例の制定作業も最終段階となりました。

さらに議会においても、もっと開かれた、そして市民の声がとおる仕組みをつくっていかねければなりません。

たとえば、

- ①議会の活動に関する情報公開を徹底する。
 - ②参考人制度、公聴会制度を十分に活用し市民の意見を議会の討議に反映させる。
 - ③請願、陳情の提案者の意見を聴く機会を設ける。
- その他、政務調査費の透明性、議員間の自由討論、首長・職員の反問権等々です。開かれた議会、市民と歩む議会をめざしたいです。

北海道くりやま町では、全国で初めての「議会基本条例」を制定し、“市民とともに歩む市民参加型議会”の構築をめざし始めました。

国の第28次地方制度調査会の報告の中でも“市民との協働議会”が提言されています。わたしたちの街、鎌ヶ谷市は“市民が主役の街づくり”の第二期に入ります。市民の声がとおる議会をつくりあげることで、すみよい鎌ヶ谷をつくっていきましょう。

***** 12月議会で決まったこと *****

◇地方自治法の改正に伴い、「助役」「収入役」が廃止され、その代わりに「副市長」「会計管理者」をおくこととなりました。(議案第1号、第2号)

権限が強くなった副市長の、より積極的な役割が期待されます。

◇小中学校コミュニティールーム使用料制定(議案第5号)

学習センター等と同様の使用料を定めることとなりました。1時間につき100円～300円です。

◇指定管理者の指定におい



小中コミュニティールーム

て、市長、助役、議員等の兼業を禁止すること(議案第4号)

現在スポーツ施設等の管理運営を“指定管理者制度”でおこなっていますが、地方自治法上「兼業禁止」項目がないので、今回条例で定めるものです。

◇後期高齢者医療制度(75才以上)を広域連合で運営していくことが決まりました。(議案第8号)

75才以上の高齢者の新たな医療制度を創設(平成20年度から)。運営主体は、千葉県下の広域連合です。



指定管理者制度で運営

ふじしろ政夫の一般質問

☆国の史跡“小金中野牧跡”を鎌ヶ谷のシンボルとし、まちづくりに生かしていく！



国指定史跡の野馬土手

貝柄山公園入口の「捕込」、初富小学校校庭の「野馬土手」を、国の指定史跡とする答申が国の文化審議会から出されました(11/17)。鎌ヶ谷で初めての国指定文化財となります。全国的には「野馬土手は泣いている」といわれる程、とり崩されたり、壊されたりして保存状態が悪い中での答申です。国指定文化財となるほどの遺構が鎌ヶ谷にあったのは、所有者の方々の文化財への深い洞察力とご理解があったればこそと、その高い見識に敬意を表すると同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。この野馬土手を今後どう保全・整備・活用していくのかを議論しました。

全国的に見て極めて価値の高い文化財

生涯学習部長：「下総小金中野牧跡」の国指定答申は、捕込跡や野馬土手などの遺構が全国的に見て極めて価値の高い文化財として評価された結果であり、牧として指定されたのは全国でも初めてであり、全国に誇れる国史跡が鎌ヶ谷市に誕生するのは大変意義深いことです。

「策定委員会」で「保存管理計画」をつくっていく

生涯学習部長：文化庁からの指導により史跡地の公有化、未指定区域の追加指定、周辺環境整備など、“史跡の保存管理計画”をつくっていきます。

市民の参加による保全活用

生涯学習部長：保存管理計画の策定段階から、又、その実施レベルにおいても市民の皆様に参加して頂く方策を検討していきます。

鎌ヶ谷のシンボルとし、まちづくりに生かす

藤代市議：ヨーロッパでは、パリのヴェルサイユのように、王のパーク(狩猟林)が残っています。江戸幕府のパークは下総の“牧”です(千葉大、赤坂先生)。その“牧の遺構”を、どうまちづくりに生かしますか？

清水市長：国指定化は、鎌ヶ谷市始まって以来の大変意義深いことです。この全国に誇れる貴重な文化財を鎌ヶ谷のシンボルとして位置づけ、これからのまちづくりに生かしていきたいです。

☆鎌ヶ谷の地域医療・看護・介護のトータルケアを新たな協議会でとりくむ

これからの少子高齢社会において、一人でも安心して暮らしていける地域医療とは？地域看護・介護とは？ 来年秋、中核病院(鎌ヶ谷総合病院)がオー

ンするのを契機に、“かかりつけ医”“在宅療養支援診療所制度”を実現していきたい。

これからの方向性を明らかにしたく質問しました。



地域医療実現の鍵は、「かかりつけ医」を中心とした地域の医療機関の連携です。

福祉部長：鎌ヶ谷総合病院(中核病院)は、平成19年9月に開院です。24時間365日対応の救急医療、かかりつけ医の紹介型病院、医師会の開放型病院などの機能を担い、地域医療の要となります。今後は、かかりつけ医を基盤と据え、中核病院を縦軸、一般病院等を鋸とする地域医療の構図を基に、とりくみます。

24時間の往診・訪問看護の在宅療養は…これからです

福祉部長：「在宅療養支援診療所制度」とは、患者の求めに応じ、往診・訪問看護を24時間体制で行う診療所であり、医療サービスと介護サービスが連携していること等が要件です。今、本市には1ヶ所もありませんが、中核病院は、開院後設置を積極的に考えているとのこと。又、市内のお医者様も1ヶ所検討しているとのこと。

医療・看護・介護のトータルケアは新たな協議会でとりくむ

福祉部長：地域医療・看護・介護のトータルケアのためには、「かかりつけ医」の普及定着を推進するとともに、病院や特別養護老人ホームとかかりつけ医との連携、また訪問看護ステーションの拡充、さらに在宅療養支援診療所といった保健・医療・福祉のトータルな取組みが必要となります。新たな協議会を設置し、その中でとりくんでいきます。

☆県所有地の鎌ヶ谷市スポーツ広場のこれから



佐津間火焼田の土地

千葉県から無償で借り受けスポーツ広場として整備(平成15年、2300万円)して使用している土地があります。初富四本柵19,291㎡、佐津間火焼田9,920㎡です。

それぞれ市街化調整区域で県が県営住宅建設用地として、国から補助金をうけ、約31億円で購入した土地です。工事未着工として国の会計検査院から指摘を受けたとのこと。どうなるのだろうか？

質問しました。

佐津間火焼田の土地・阻害要因等具体的進展なし

藤代市議：平成6年10月当時の皆川鎌ヶ谷市長、並びに、議員27名が、それぞれ市街化調整区域での県営住宅建設には阻害要因があると指摘していますが、どうなりましたか？

土木部長：県営住宅を建てるときの市の開発指導要綱に基づく開発協議は、別途協議であります。又、道路、

排水等の要望事項の具体的進展はない状況です。

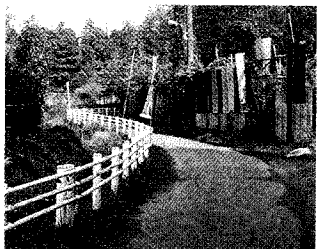
産廃調査資料（文書）なし

藤代市議：火焼田の土地の産業廃棄物については県にその調査資料の文書はないとのこと。鎌ヶ谷市にもない。又、先行取得した県土地開発公社にもないとのこと。ただ売主と公社との間で、「建築廃材が発見された場合、当社の費用と責任で除去する」との確約書があるだけだということ指摘しておきます。

少しでも長く、借用させていただきたい

生涯学習部長：今後とも多目的グラウンドとして一年でも長く使用できるよう県と協議に努めて参ります。

変わってしまったサイクリングロード



冬の朝、自転車で鎌ヶ谷市の近郊を少し走ってみた。昨日までの雨も上がり、陽の光を一パイに受け、少し走ると汗ばむような陽気になっていた。

住宅街の外れに旧サイクリングロードがありました。地図上では「中沢みんなのスポーツ広場」から「八幡春日神社」へと続く森の西側になり、その森の雑木林沿いに白くペンキで塗られた鉄柵で湿地帯と仕切られた幅1メートル強の古い舗装された道がありました。地元の人に尋ねると、どうもこの道が昔のサイクリングロードのようです。

このあたりは谷地川に続く湿地帯で、今はその湿地もきれぎれに埋め立てられ、建設資材の置き場となっております。

1000メートル足らずのサイクリングロードを何で作ったのかその意図もわかりませんが、作ってしまったものは仕方がないので、近隣の学校の通学路としてもう少し整備して利用するのが良いと思います。

鎌ヶ谷の近くには江戸川サイクリングロード、手賀沼サイクリングロード、印旛沼サイクリングロードがあります。ここ鎌ヶ谷にもサイクリングロードが整備されたらよいと思われます。

西佐津間 伊藤僖代次

“議員定数”発議案、継続審議へ

鎌ヶ谷市議会の議員定数を27名から25名にする条例案が常任委員会二日前に4名の議員から発議されました。

2名減の根拠は、提案者が妥当だと思っている“妥当性”だとの事。

人口割なのか、それとも面積割なのか、その点については根拠が示されない中、議会はより深く議論しようと、“継続審議”を議決しました。

本来、議員定数は、主権者たる市民が決めるべきものであり、少なくとも市民、学識経験者らによる“第三者機関”での議論が必要であると思われます。

その市民からの提言をうけて、議会在議決すべきものでしょう。ちなみに、定員25名は、4,124人に一人の割合です。

戦争をおこすのも人間 とめることができるのも人間

—経済同友会終身幹事品川正治さん語る—



国際開発センター会長として活躍している財界人品川正治さんのお話しを聞く会がありました（'06.11/26）。

先の大戦で、中国戦線へ送られ、死ぬ覚悟の日々が終わったとき「二度と戦争をしない…“終戦だ”」という

気持ちになったとのこと。

そして「戦争をおこすのも人間、これを許さないでとめることができるのも人間」との確信をもって、戦後の経済活動をしてきたことが話されました。

憲法9条については、「イラクへ自衛隊が派遣され、今、9条2項はボロボロです。しかし、国民はその旗ざおをはなさない」「それ故、60年間、外国人を戦争で殺すこともなく、殺されることもなくやってこれた」と「正義の戦争も認めない」日本国憲法の絶対平和主義を語りました。

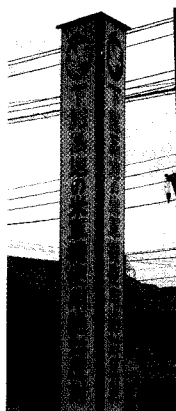
さらに、日本の政治、経済のあり様として「アメリカは戦争をしている国であり、日本は戦争をしない国である」「アメリカの市場原理主義の経済と、日本の修正資本主義経済とは違う」というように、日本の価値観と、アメリカの価値観はまったく違うものであり、小泉、安倍政権のように“日米は価値観を共有している”という誤まった前提で語られるが故に多くの問題が生じていると現状を鋭く分析しました。

例えば、“福祉、教育、環境保全”は市場原理にまかせられないものだ、安倍政権の成長理論の問題点を指摘しました。

最後に「9条2項を国民が本当に選択し、守り切れるなら、それは世界史をうごかすことになる」「21世紀の新たな社会を生み出すことになる」と、日本国憲法9条2項の大切さと重要性を語りました。

下総基地の米軍使用反対の確固たる 意思を示し続けていこう！

—米軍再編・NLPの行方は—



去年5月1日に日米で合意された米軍再編計画の中に、私達にとって大変重要な項目があります。それは「恒常的な、米空母艦載機離着陸訓練の恒久施設を09年7月またはその後のできるだけ早い時期に選定することを目標とする」とあります。私達は下総基地が厚木のNLP代替基地候補としてあがって以来、25年間にわたって阻止し続けてきました。しかし、油断は禁物です。更に反対の声を高めていきましょう。 東道野辺 岡崎 茂夫

NOMADOTE

まちかど情報



かまがや“イチゴ”

おいしいイチゴをつくる農家がふえました。

昨年よりも2軒ふえて今年は10軒になりました。

今、白い花が、真赤な甘いかおりのイチゴになり始めています。直売用の「アキヒメ」味わってみたいです。



野馬土手めぐり 第5回 (最終回)

昨年9月号より連載した『野馬土手めぐり』も1月号第5回で終了となります。

『野馬土手めぐり』を思い立ったキッカケは、『まなびいしえん』の会(会長 妹尾光雄)で、昨年5月藤代市議より“野馬土手は釜原の原風景”と題して、『野馬土手の歴史的文化的な由来と、市内に残る土手の現状と保存に向けての努力等』に就いて熱心なお話を伺ったのが発端であります。

釜原と呼ばれた昔、広大な原野に人の背丈を越す手作りの土手が何キロメートルも続き、野馬がゆったり草をはみ、時には風のように駆け抜けて行く風景を想像すると400年の時を越えて、長大な野馬土手を人力で築き上げた往時の有り様が思い返され感慨無量です。

今回保存状態の良好な小金中野牧込跡と初富小裏の野馬土手が、国指定史跡に指定される予定となった事は、本当に喜ばしく、永年に亘り尽力された方々に心よりお礼申し上げます。

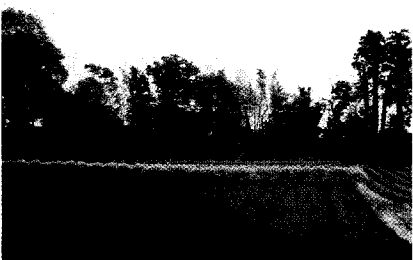
一方かなり消滅して低くなった市指定史跡の野馬土手も有ります。出来れば市民の力で修復し往時の姿を再現出来たら素晴らしい事と夢がふくらみます。

南鎌ヶ谷 鈴木喜久次

⑨ “初富” 所在の野馬土手

北初富の光円寺前の道路を北に暫く進むと、右側に畑を隔てて見えてくる。半分えぐられた様になっているが、高さ約3m長さ約90mの土手である。

この土手を延長すると北総線、新京成線を越えて小金中野牧の込跡に連がっている。



⑩ 道野辺中央5丁目八幡神社境内の野馬土手



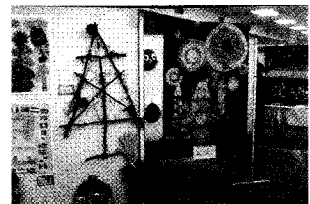
石段を昇り、続く参道の左側に『道野辺八幡の森』の標柱が在り、この標柱の後森の中へ約10m奥に高さ約1.5mの二重の野馬土手が参道と略

並行して続いている。

この場所は環境保全地区で《立入り禁止》である。

特殊学級・養護学校合同作品展

12月5日から13日まで鎌ヶ谷庁舎1階ロビーで松戸地方特別支援教育研究連盟主催の作品展がありました。楽しい作品がいっぱいでした。



『ふじしろ政夫』頑張れ 一言コーナー

- ◆大きな声で笑います。よく食べ、よく飲みます。熱心に勉強します。懸命に頑張ります。高い志と固い信念を持っています。こんな「ふじしろ政夫」さんを私も応援します。 奈良 直次(鎌ヶ谷)
- ◆初当選から早や4年、市議会では必ず一般質問をし、暑い夏の日も、寒い冬の日も駅頭で議会報告をして来た「ふじしろ政夫」さん。これからも無所属、市民派として、さらなる活躍を期待しています。 中根喜美子(丸山)
- ◆真面目で明るくて一生懸命な姿に、エールを送ってきました。市議に当選後一途に頑張る藤代さんをまのあたりに観てきました。捕込、野馬土手の文化財指定のこと、共謀罪のことなど、市政を変える会のニュース発行など、貴重な人材を二期目にも頑張ってくださいますことを期待し応援します。 船田 あい(東中沢)

ふじしろ政夫の市政報告会

1月14日(日) 13:30~
まなびいプラザ

お知らせ

- ☆「ふじしろ政夫と共に市政を変える会」総会
2月4日(日) 11:30~
- ☆“下総小金中野牧跡”国史跡指定を祝う!
『青木さん野馬土手を語る』-『野馬土手は泣いている』の著者青木更吉さんが野馬土手を語ります-
2月18日(日) 13:30~
まなびいプラザ 研修室1(無料)
- ☆津久井市政報告会
1月21日(日) 13:30~ まなびいプラザ

きょうどう事務所 トライ・案内

- 無料弁護士法律相談-要予約 ふじしろまで-
1/20(土) 2/24(土) 3/24(土) 13:00~
- 碁楽会 1/12(金) 1/19(金) 1/26(金) 13:00~
- 数学教室 毎週 月・火曜日 19:00~
- 市政相談:ふじしろ政夫市議 常時、ご連絡下さい